

## 中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体				
中区魅力発信事業		中区役所企画総務課				
事業目的	事業内容	活動指標	R4	R5	R6	
市の伝統産業・地域資源の魅力を区内外へ広く発信し、文化芸術に触れる機会を提供する。これにより、歴史文化資源を身近に感じてもらうことで、区民の地域への愛着を深めてもらう。	①市の伝統産業である注染の新作手ぬぐい展示・製品販売、雪花絞り染め体験を実施するイベントを開催する。 ②堺観光ボランティア協会と協働し、行基に関する歴史文化資源を巡るイベントを開催する。	①注染への関心が深まったと答えた人の割合(アンケート調査) ②歴史文化資源について関心が深まったと答えた人の割合(アンケート調査)	①99% ② —	①95% ② —	①94% ②96%	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性			
○ ①市の伝統産業である注染・和晒は、区内に多く製造工場があり、地域資源と言える。これらの魅力を区役所を訪れる市民に発信することが、地域への愛着を深めるため、区が事業を実施する妥当性が高い。 ②も①と同様に区の魅力発信をきっかけに地域愛を育むことに寄与するため、区による実施が妥当と考える。	○ ①協同組合オリセン・堺注染和晒興業会と連携し、注染製品の展示・販売、雪花絞りの染め体験を行った。 ②NPO法人堺観光ボランティア協会と連携し、ガイド案内のもと行基ゆかりの地を巡るウォーキングイベントを開催した。	○ ①販売会は、市の伝統産業である注染・和晒の製品を実際に手にとってもらえる良い機会である。今回は、新作手ぬぐいを1週間にわたって展示し、雪花絞りの染め体験を初めて実施することで、多くの市民に注染の魅力を感じてもらえる機会となった。 ②ガイド案内のもと行基ゆかりの地を巡るウォーキングイベントとすることで、参加者に歴史文化資源の魅力を感じてもらえる機会となった。	○ ①販売会の物品の用意や設営等は、協同組合オリセンが行っている。また、染め体験における職人の報償費についても販売の売上から捻出されており、経費の支出を抑えつつ、一定の効果を挙げることができた。 ②ルート決定や行基ゆかりの各施設との調整、休憩所等の確保は区役所で行い、歴史的な知識を要する案内は観光ボランティア協会のガイドが行うなど、分業により参加者に満足していただける内容のイベントが効率良く実現できた。			
⑤自立発展性	総合評価					
- ①区役所を訪れる市民に市の伝統産業である注染・和晒の魅力をPRするものであるため、行政が実施主体となるべき事業である。 ②区民にとって文化資源に親しみ地域愛を育む事業となったが、イベントの企画全般や周知、参加者募集は区役所主体で担っている事業であり、自立発展性の検証は相応しくない。	○ ①今年度は販売会と併せて新作手ぬぐいの展示・雪花絞りの染め体験を開催した。多くの市民に作品を見ていただき、より注染の魅力を感じてもらえる機会を提供できた。今後も、新規来場者・購買者を増やすための工夫が必要となる。 ②行基ゆかりの地の一つである華林寺では、参加者を対象に特別公開を行ったり、地元関係者から事前に直接レクチャーを受けたガイドが質の高い案内を行ったりするなど、参加者個人では経験し得ない内容を盛り込んだイベントを実現することができた。					
今後の方向性(課題、改善提案等)						
継続	①今年度は新作手ぬぐいの展示を1週間にわたって行い、多くの市民の目に触れる機会を提供した。また雪花絞りの染め体験を実施し、これまでのイベントに参加したことがない市民に注染の魅力について周知を図ることができ、イベント来場者アンケートで一定の評価を得た。一方、販売商品など固定化している面もあるため、今後、若年層や今まで注染・和晒について知らなかった人に魅力を伝える工夫が必要である。 ②今年度は、ガイド案内のもと行基ゆかりの地を巡るウォーキングイベントを行い、歴史文化に触れる機会を提供した。今後は、ウォーキングイベントに参加することが難しい市民にもターゲットを広げ、他の方法で歴史文化資源の魅力発信を行うイベントを検討する必要がある。					